

# テレメトリソリューション

◇動物生態調査のテレメトリにハンディスペアナを用いて複数チャンネル同時受信を可能にします。

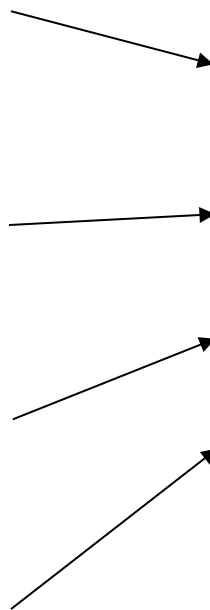
## [アプリケーション ~\*Application\*~]

近年生息数の増加により農業や鉄道への被害が問題となっている野生動物の生態調査のため、テレメトリ発信器が用いられます。平成20年に「特定小電力無線局150MHz帯動物検知通報システム用無線局の無線設備」が施行され150MHz帯がテレメトリ発信器に割り当てられました。通常は専用の受信機が探索に用いられますが、一度にひとつのチャンネルしか観測することができません。MSA438 ハンディ・スペクトラム・アナライザを用いれば**複数のチャンネルを同時に観測することができ、調査効率を格段に上げる**ことができます。

## [ソリューション ~\*Solution\*~]

弊社ハンディ型スペアナMSA438は以下の特長を持っています。

- \* 小型、軽量 1.8 kg
- \* 内蔵バッテリー(オプション)により約4時間連続使用可能
- \* ハンディ型スペクトラム・アナライザとしては低価格、498,000円
- \* マックスホールド機能により間歇発振に対応
- \* 50 kHz-3.3 GHzの周波数範囲で他の周波数帯のモニタも可能



## [システム構成・価格 ~\*System constitution & Price\*~]

スペクトラムアナライザ MSA438	498,000	円
リチウムイオン電池 MB400	21,600	円
アンテナ	別途ご相談	
プリアンプ	別途ご相談	

2023/4 Rev.1